

多摩市介護予防・日常生活支援総合事業 平成30年度の実績及び平成31年度の計画

資料3
R1.7.16

1 介護予防把握事業

事業名	概要	年度	回数	参加者数		平成31年度取組内容	現状における課題 今後の取組み予定
				参加者数(延)			
① TAMAフレイル予防プロジェクト (TFPP)	プレフレイル(虚弱)段階の高齢者を早期に発見し、介護予防活動につなげることで、健康増進、介護予防を推進する。気づきから行動変容までを目的として、2段階の質問項目と4項目の測定により、身体の虚弱、低栄養、認知症、口腔機能、社会参加等のリスクを判定できる。楽しく日常生活に取り入れられる体験プロジェクトも実施。大学、介護予防リーダー等の市民が取組める事業	H29	4回	182人	講演会118人	大規模会場3回、中規模会場12回、小規模会場15回の計30回実施予定	<課題> ・参加者増に向けた周知(PR)方法の工夫 ・事業参加後の活動状況の把握 <今後の取組み> ・参加者の過去の測定データとの比較や、参加後の活動状況を把握するためにTFPPメンバーズカード(ID入り)を導入 ・民間企業との連携
		H30	28回	724人			

2 地域介護予防活動支援事業

事業名	概要	年度	回数	参加者数		平成31年度取組内容	現状における課題 今後の取組み予定
				実数	延数		
① うんどう教室 ■豊ヶ丘南公園 【平成13年度開始】 ■乞田・貝取ふれあい広場公園 【平成24年度開始】	運動を習慣化することにより、市民の介護予防を図ることを目的として実施。乞田・貝取ふれあい広場公園、豊ヶ丘南公園に設置された運動遊具を活用した運動教室をそれぞれ月1回開催。健康推進課で実施していた「豊ヶ丘南公園のうんどう教室」を平成28年度から高齢支援課の「乞田・貝取ふれあい広場公園のうんどう教室」と統合	H26	12回 (1箇所)	63人	378人	2箇所の公園にて月1回の活動を継続	<課題> ・新規参加者数の増加に向けた周知(PR)方法の工夫 ・長期欠席者への対応や状況把握が必要 <今後の取組み> ・市関連施設等でのチラシの配布や事業の際の広報を継続実施 ・たま広報への掲載を継続実施
		H27	12回 (1箇所)	53人	420人		
		H28	23回 (2箇所)	87人	487人		
		H29	23回 (2箇所)	78人	502人		
		H30	22回 (2箇所)	94人	587人		

事業名	概要	年度	回数	参加者数		平成31年度取組内容	現状における課題 今後の取組み予定
				実数	延数		
② 地域介護予防教室 【平成28年度開始】	介護予防リーダーが中核となって地域住民と開催する地域介護予防教室で介護予防元気アップ体操を実施。市は、運営費の補助とリハビリテーション専門職を派遣し支援を行う。	H28	446回 10箇所	810人	11,053人	既に実施している14ヶ所の地域介護予防教室運営の実態把握とフォローをしていく。 7期生を中心に新規教室を立ち上げる。	<課題> ・参加者増への対応 ・欠席者の状況把握 ・担い手の確保 <今後の取組み> ・将来的には小学校通学区域ごとに20ヶ所の開設を目指している。
		H29	555回 12箇所	963人	17,793人		
		H30	595回 13箇所	1,014人	20,083人		
③ 介護予防ボランティアポイント 【平成26年12月開始】	高齢者のボランティア活動実績を「ポイント」として評価することにより、介護予防を促進し、もって元気な高齢者が地域に貢献できるような取組を推進することを目的として実施。指定された市内の施設でのボランティア活動でポイントが貯まり、そのポイントに応じた交付金を受けれる取組み。	H26	24機関	54人	54人	ボランティアポイント登録者数の目標を450人に設定。多摩ボランティア・市民活動支援センター内にPRコーナーを設置することや、あらゆる機会でのチラシの配布などにより周知を行う。	<課題> 登録施設が50以上あり、選びきれず登録のみで終わってしまう方がいるため、マッチング数が少ない。 <今後の取組み> 登録時に活動希望アンケートを実施し、登録者の希望に合うものと施設側のニーズを合わせながらフォローを実施
		H27	35機関	109人	162人		
		H28	39機関	73人	255人		
		H29	47機関	109人	343人		
		H30	51機関	79人	414人		
事業名	概要	年度	養成講座回数	養成者数		平成31年度取組内容	現状における課題 今後の取組み予定
				新規	累計		
④ うんどう教室地域指導員養成 【平成24年度開始】	うんどう教室の運営、指導にあたるうんどう教室地域指導員の養成を行う。平成30年度以降、隔年で養成することとし、平成31年度（令和元年度）養成	H26	—	—	—	新規地域指導員指導員の募集に際する説明会計1回と、新規地域指導員養成講座と既存地域指導員向けのスキルアップ教育を計7回実施	<課題> ・新規指導員の応募が少ない。 <今後の取組み> ・引き続きあらゆる機会でのチラシ配布などによる周知を行なう。 ・2年に1回新規地域指導員の養成講座を実施
		H27	—	—	—		
		H28	6回 (1クール)	8人	21人		
		H29	6回 (1クール)	7人	28人		
		H30	—	—	—		

事業名	概要	年度	養成講座回数	養成者数		平成31年度取組内容	現状における課題 今後の取組み予定
				新規	累計		
⑤ 介護予防リーダー養成 【平成25年度開始】	地域での介護予防活動を支援する介護予防リーダーを養成し、地域における介護予防事業を推進することを目的として実施。 介護予防と老年学、介護予防に必要な運動学などの全13回の講座を開催	H26	13回 (1クール)	12人	30人	市民24名を対象に6月より介護予防リーダー養成講座を開催(第7期生)。 介護予防と老年学、介護予防に必要な運動学など全13回の講座を実施し、10月で修了する予定	<p><現状> 養成講座修了者のうち約8割は地域の介護予防活動の実施につながっている。</p> <p><今後の取組み> 修了者が各地域での介護予防活動の実施につながるよう引き続き支援していく。</p>
		H27	13回 (1クール)	19人	48人 ※1人転出		
		H28	13回 (1クール)	21人	69人		
		H29	13回 (1クール)	20人	89人		
		H30	13回 (1クール)	22人	111人		

3 地域リハビリテーション活動支援事業

事業名	概要	年度	派遣回数	参加者数(延)	平成31年度取組内容	現状における課題 今後の取組み予定
① 地域リハビリテーション活動支援事業 【平成28年度開始】	住民運営の通いの場(サロン等)で、リハビリテーション専門職により介護予防に関する知識の習得・筋力維持のための体操等を実施し、参加者の状態に応じた指導・助言を行う。 平成30年度から近所de元気アップトレーニングへのリハビリテーション専門職の派遣も開始	H28	25回	331人	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン等へのリハビリテーション専門職派遣は継続 ・近所de元気アップトレーニングへの地域のリハビリテーション専門職派遣拡大に向けた説明会を実施し、計47人の派遣登録があり、各団体への支援を開始 	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主グループへの周知 ・リハビリテーション専門職の登録数は拡大しているが、派遣調整の方法について検討が必要 <p><今後の取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主グループの交流する機会を持ち周知する ・リハビリテーション専門職の説明会を継続開催
		H29	12回	153人		
		H30	31回	345人		

4 通所型短期集中予防サービス事業

事業名	概要	年度	卒業生数	目標達成率 (途中変更達成含む)	平成31年度取組内容	現状における課題 今後の取組み予定
H29	147人	79.6%				
H30	119人	84.9%				

5 多摩市介護予防・日常生活支援総合事業

事業名	概要	年度	利用回数 (延)	利用者数		平成31年度取組内容	現状における課題 今後の取組み予定
				延べ	実数		
① 住民主体による 訪問型サービス	要支援1・2や総合事業対象者で、生活サポーターと共に掃除、洗濯、食事の準備や調理、買い物等の家事を行うことで要介護になることを予防し、自立した生活が維持できるよう支援する。 NPO、社会福祉協議会、シルバー人材センターに所属している生活サポーターを派遣	H28	87回	28人	8人	<ul style="list-style-type: none"> ・現生活サポーター向けに実態調査のアンケートを実施。アンケートを基にフォローアップ講座を行う。 ・生活サポーターを継続して養成する。サポーターの少ない地域への働きかけを行なう。 	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の周知や理解が十分でなく利用につながりにくい。 ・地域によっては担い手がいない地域もあり利用につながらないこともある。 <p><今後の取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス実施事業所と地域包括支援センターとで、情報交換会を行う。 ・生活サポーター不在地域を減らす。
		H29	874回	262人	53人		
		H30	2014回	581人	82人		